

受け入れよう・話しあおう・傷つけない・自分づくり

# 楽校のココロ

横須賀市立公郷中学校

令和4年(2022年)9月1日(木) NO. 05

保護者の方と一緒に読みましょう

## 前期後半がスタート！ ～夏休みの活躍～

夏休みが終わり、学校が始まりました。この夏休みには、たくさんの活躍がありました。

1年生で関東大会に出場した陸上部の二本木真輝さん、8月9日に平塚レモンガススタジアムで大会が行われました。あと少しで決勝進出でした。吹奏楽部はコンクールで公郷サウンドを響かせ、銀賞を受賞しました。科学パソコン部は創造アイデアロボットコンテストに向けて、頑張りました。

多くの3年生が引退したあと、2年生を中心に各部活動が基本的な練習と練習試合で新人戦に向けて頑張っている姿が素敵でした。暑い中、熱中症対策とコロナ対策で大変だったと思います。



生徒会執行部もオンラインとなりましたが、リーダースキャンプがありました。各教室に分かれ、それぞれの分散会に参加し、他校の生徒会役員とリーダーとしての学校づくりを考えました。



5組では防災教育として、「まち歩き」を行い、「起震車」を利用して、震度7の地震を体験しました。実際に起こると予想されている地震、起きてからではなく、様々な準備が必要だと学びました。



夏休みには、それぞれが頑張る姿にたくさんの元気をもらいましたが、何よりもうれしかったのは、地域の方からの1本の電話でした。8月中旬、久里浜駅でのこと。本校の3年生徒が足が不自由なその方に声をかけ、荷物を持ち、助けてくれたとのことでした。夏休み前にも、地域で同じようなことがあり、お礼の電話をいただきました。今回の方は、2度も連絡をくださり、ぜひ、みなさんにお話ししてくださいとのことでした。本当に嬉しかったのだと思います。人は誰かに親切にもらったことは忘れません。行為そのものより自分を気遣ってくれたその温かい気持ちに励まされるものです。どんな場面でもすぐに声をかけ、行動に移せる生徒がたくさんいる公郷中生を誇らしく思ったできごとでした。集会で話した「ピンクシャツデー」の行動と重なりました。自分の周りに気配りができ、お互いに手をさしのべられる人でありたいと思います。

## 順調に始まりました！

夏休み明けの初日は、落ち着いた朝読書、SHR、火災を想定した避難訓練、全校集会、授業といつもと変わらない公郷中的一天でした。

集会では、戸田先生から防災についてのお話がありました。

3回の大きな地震を経験され、そこから学んだこととして、

①備えあれば憂いなし…商品がなくなる。水も備蓄の軽食も、各家庭にありますか？

②人とのつながりの大切さ…仙台の高校のバレエ部を招待した話。当たり前有難さなかなか想像できないけれど、中学生は地域の中で、何かあったときに、とても頼りにされています。今日、9月1日は99年前に関東大震災が起こった日です。ぜひ、自分も家族も守れるよう身の回りの備えを考えてみてください。

